



点耳薬(てんじやく)の使い方



(タリビッド耳科用液 製剤写真より)

点耳薬とは

耳の中に薬液を滴下する(しずく状にして落とす)タイプの薬を点耳薬といいます。容器の見た目は目薬に似ていますので(左写真)、間違えて目にささないように注意しましょう。

点耳薬の使い方¹⁾

冷たい液を耳に入れると、めまいを起すことがありますので、使う前に手のひらで容器を握って、液を人肌程度に温めることがポイントです。以下の手順で使用しましょう。

- 1 手を洗う。
- 2 医師の指導にしたがって、綿棒などで耳の中の分泌物を掃除する。
- 3 容器を2~3分手に持って、薬の液を体温に近い状態まで温める。
※冷たいまま点耳すると、めまいを起すことがあります。
- 4 点耳する耳を上にして、横向きに寝る。
- 5 容器の先が耳に触れないようにして、耳の中に指示された滴数を入れる。
※患部が少し奥の方の中耳(中耳炎など)の場合は、液を垂らしたあとに、軽く耳たぶを後ろ(後頭部側)上方に引っ張りながら揺らすと、液が中耳まで行きやすくなる。
※また、唾を飲み込むようにすると液が奥にまで行きやすい。
- 6 その後、決められた時間、同じ姿勢(横になったまま)でいる。
- 7 起き上がり、耳の外に流れ出た液はティッシュなどで拭き取る。



慣れないと決められた滴数を耳に入れるのはなかなか難しいことです。多少多めに滴下しても副作用などの心配はほとんどありませんが、難しい場合は他の人にさしてもらおうのも一つの方法です。慣れると自分でも出来るようになると思います。液が冷たくて、めまいが起こった場合は、楽な姿勢で休んでいきましょう。すぐ落ち着いてくると思います。

点耳薬にはどのようなものがあるか？

点耳薬には、細菌を抑える薬、炎症を和らげる薬、耳あかを柔らかくする薬などがあります。

使い方(1日何回使うか、何滴点耳するか、点耳後そのままの姿勢で何分いるか、など)は、症状などによって違ってきます。医師の指示通りに使しましょう。

主な点耳薬

| 働き | 主な薬の名前 | 成人の標準的な使い方 |
|------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 細菌を抑える | タリビッド耳科用液 ベストロン耳鼻科用 ロメフロン耳科用液 | 1回6~10滴を1日2回点耳。 点耳後そのままの姿勢で約10分間。 |
| | ホスミシンス耳科用 | 1回10滴を1日2回点耳。 点耳後そのままの姿勢で約10分間。 |
| 炎症を和らげる | リンデロン点眼・点耳・点鼻液 | 医師の指示通りに |
| 耳あかを柔らかくする | 耳垢水(じこう水・ていねい水) | 医師の指示通りに |



点耳薬Q&A

| | |
|-----------------------------|---|
| Q 2種類の点耳薬を使う場合の使い方は？ | A 医師から特に指示がなければ、2種類を続けて点耳して大丈夫です。順番も、特に決められていなければ、どちらを先に点耳してもかまいません。 |
| Q 点耳するとき、容器の先が耳に触れてしまいましたか？ | A ティッシュなどで拭き取り、清潔にしましょう。 |
| Q 「耳浴(じよく)」とは？ | A 薬を長時間、耳の中にとどめておく方法を耳浴と呼んでいます。点耳(2、3分)に比べて長い時間(10分程度)横になり同じ姿勢を保つ必要があります。 |
| Q 保管の注意点は？ | A 点耳薬の容器の形は、点眼薬や液体タイプの水虫の薬に似ているものがあります。点耳薬を間違えて眼に入れないようにするために、 点眼薬の近くに置かないこと や、薬を使う前は 容器に書かれている薬の名前をもう一度確認すること が大切です(点眼薬と似ている薬には「目に入れない」などの注意書きがあります)。 |
| Q 点耳薬と点眼薬は同じもの？ | A 点耳薬と点眼薬でまったく同じもの(例：リンデロン点眼・点耳・点鼻液)と、薬の名前(成分)は同じでも添加物などが違うもの(例：タリビッド耳科用液とタリビッド点眼液など)があります。添加物などが違うものはもちろんですが、 たとえ薬として同じであったとしても、点眼薬を点耳薬に、点耳薬を点眼薬に代用してはいけません 。お薬は正しく使用しましょう。 |

【参考文献】

1) タリビッド耳科用液患者指導箋「耳科用液(点耳薬)による効果的な点耳・耳浴のやり方」

